

社員の寄付とボランティアによる非営利団体との協働

BIPROGY グループ 社会貢献クラブ「ユニハート」社員ボランティアの皆様
【パートナー団体:NPO 法人 視覚障害者パソコンアシストネットワーク 他】

■活動の目的:

BIPROGY グループ社会貢献クラブ「ユニハート」(以下、「ユニハート」)は、社員の自発的な社会貢献活動の推進を奨励し、社会に貢献することを目的に設立しました。共に支え合う持続可能な社会の創出に向けて、自ら行動をおこすための気づきの場になることも目指しています。

■活動を始めたきっかけ(2006年5月開始):

2000年以前から、会社主体の社会貢献活動として、コンサートへの協賛や、協賛コンサートへの目の不自由な方のご招待、社員による誘導ボランティア等の活動を実施していましたが、社員主体の活動を後押しする仕組みはありませんでした。そこで、社員が主体的に参加できる仕組みとして、2006年度から、「ユニハート」を設立し、活動を開始しました。

■活動の内容(企業ボランティア実数 約 900名):

会員から寄せられる毎月一口100円以上の寄付を、会員からの申請に基づき、年1回NPOなどの団体に寄付しています。2021年度には、17団体に合計342万円を寄付しました。寄付の使途は全団体から文書および動画でご報告いただき、社内イントラにて公開しています。会員の自主的な企画により、寄付先団体と協働で様々なイベントやボランティア活動なども行っています。



コンサートパンフレット
音声読み上げ体験ブースの様子

(1) 寄付先団体との協働プログラム例①

【寄付先団体】視覚障害者パソコンアシストネットワーク(視覚障害者の情報通信技術の利用促進に取り組んでいる団体)

【寄付の使途】講習用のPCや音声読み上げソフトの購入、視覚障害者就労促進事業の実施などに使用。

【協働プログラム(社内向け)】視覚障害者の情報通信技術利用に関するワークショップ(PCやスマートフォンなどを音声のみで使用する方法の体験)を実施。視覚に障害のある社員が協力してワークショップの企画・実施をしています。

【協働プログラム(一般の方向け)】コンサートプログラムを音声で聞くことのできる仕組み作りや、地域の子どもたち向けにタブレット端末をお札にかざして音声で金額を知る体験プログラムを提供。視覚障害者就労促進事業では視覚に障害のある社員が講演しました。

(2) 寄付先団体との協働プログラム例②

【寄付先団体】東京盲ろう者友の会(視覚と聴覚の両方に障害を併せもつ方の自立と社会参加促進に取り組んでいる団体)

【寄付の使途】盲ろう者のパソコン活用訓練用機器、点字情報端末などの購入。

【協働プログラム(社内向け)】盲ろう者の方とのコミュニケーション方法を体験するワークショップを実施。

【協働プログラム(団体向け)】社員ボランティアが盲ろう者に対するパソコン通訳等を実施。

(3) 寄付先団体との協働プログラム例③

【寄付先団体】シャプラニール=市民による海外協力の会(バングラデシュ、ネパール、日本において取り残された課題の解決に取り組んでいる団体)

【寄付の使途】バングラデシュおよびネパールの児童労働の予防・削減に向けた活動の実施。

【協働プログラム(社内向け)】「児童労働と新型コロナウイルスに関する講演会」等を実施。

【協働プログラム(団体向け)】毎年、全国にある支社支店が主体となり、ステナイ生活キャンペーン(書き損じはがき等を収集し、シャプラニールに寄付する活動)を実施。

■活動の成果:

(1)2006 年度～2021 年度までに、合計 5,873 万円を寄付。

各団体それぞれの課題に沿って、団体主催のイベント運営や団体の広報活動、支援のための機器購入など、様々な用途に活用していただいています。

(2)参加する社員にとって、社会課題に気づく場であり、各種活動への積極的な参加は、自らの行動変容へとつながっています。

■強調したいこと:

(1)「ユニハート」の運営は、会員の代表から組織される運営委員会にて実施。寄付先候補団体は、会員が関わっている団体を申請。会員自ら、社員が参加できるプログラムを企画・実施し、社会課題の気づきの場を提供しています。寄付を活用して実施されるイベントには、社員が積極的に参加し、多数の社員が団体のボランティアとしても活動を続けています。

(2)寄付の使途は限定せず、各団体のニーズに合わせて柔軟な活用が可能です。

(3)会員それぞれが希望する口数で給与天引きにて寄付を実施。入退会や口数変更などは毎月対応を可能としています。社員の興味や活動可能時間などに応じた多様なプログラムを用意し、気軽に参加が可能です。

(4)イベント、プログラムなどの告知や報告は、社内イントラやメールを通じて情報を共有し、社員がボランティア活動



江東ウィズふれあいまつり

をする場合は、社会貢献活動休暇の利用も可能です。会員主体の企画・運営は、専門の事務局が支援し、経験がなくても実施できる体制／環境が整っています。

[第8回企業ボランティア・アワード『バリューアップ奨励賞』](#)